

合して街頭に失業者として投げ出される

このことが更に労働階級を不安と焦燥に駆り立てる。これを工業労働者に見るに、求職者に対する就職者の割合は百分の二十にして、俸給生活者に於ては更に百分の十に過ぎない。従つて貯銀もまた定額日給の指數は漸降を示し、実収賃銀の指數は不安定なる線を畫いてゐる。

かくの如く、今や労働階級は生活の根本を脅かされてゐるのである。

二、この無産階級の生活難加重の時に當つて、眞に労働階級の味方たり得るもの、労働者それ自身の團結あるのみである。

しかば、我が國労働者は幾何組織されてゐるか。内務省社會局の調査するところによれば、昭和二年末に於て日本に於ける工場、礦山、日傭労働者の總數は四百七十万三千七百五十七人である。之れに對して組織労働者の總數は三十万九千四百九十三人にすぎない。而してその團体數五百五である。

かくの如き未組織に対する組織の低率は、何に原因してゐるか。我々は深くその原因を突きとめねばならぬ。

その第一は言ふまでもなく我が國資本主義の發展が剥削的なためである。即ち完全なる自由主義時代を経過せずして帝國主義時代に辿りついた、そのために法制の上に於て、また觀念の上に於て著しく労働運動を阻害した。

第二には、日本が世界の後進國として、先進諸國の思潮に絶えず剥離さるゝの立場にある。故に労働階級の先進分子は、絶えず先進諸國の階級闘争の諸種の思想に剥離され、その思想的水準を高める。而してよく現實と調和するの度量あればこの上もないが、これが畢竟理論的潔癖より現実的な實力と調和を欠くに至つて遂に無産階級戰線の努力に分散を来たすに至るのである。

既にして分派的傾向を示せば、この間隙に乗じて寄生し、或る者は右翼的假面の下に、或る者は左翼的假面の下にスパイとなり擾乱者となつて眞面目なる労働運動を阻害す